



IBM Systems

# IBM Power Systems

POWER8 プロセッサ搭載スケールアウト・サーバー



## ハイライト

- データを活用するためのイノベーションで構築
- データ中心型の設計により、迅速に知見を提供し、影響の発生時点での対応を実現
- スケールアウト型インフラストラクチャーにより、経済性の向上と投資回収 (ROI) を迅速化
- データとサービスをセキュアに提供することでリスクを最小化
- イノベーションをオープンに実現して、IT の開発方法とデリバリー方法を改革

## データを活用するためのイノベーションで構築

テクノロジーのダイナミックな変化により、ビジネスプロセスの改革が急速に進んでいます。そして、急激に進化するテクノロジーを活用する目的のために、ダイナミックなコラボレーションを行うコミュニティが形成されています。結果として、企業の内外、モバイル・ワーカー、顧客や見込み客から到達するデータが急増して、ビジネス上の成果を向上させる貴重な知見の獲得と、影響の発生時点での知見の適用を実現する前例のない機会がもたらされます。

先進的な機能を活用するためには、重要な IT イニシアチブをサポートする統合インフラストラクチャーが必要です。アナリティクス、クラウド、モバイル・アクセスといった先進的な分野に最適化されたソリューションをもたらすための IBM の投資は、今日の市場機会に対応するプロセスの簡素化と加速を目的としています。

POWER8 テクノロジーを採用した次世代の IBM® Power Systems は、ビッグデータ、アナリティクス、モバイル、クラウドのパワーを競争上の優位に転換するイノベーションで構築された初のシステム・ファミリーです。Power Systems の新しいスケールアウト型システムは、強力かつスケラブルで経済的なデータ活用手段を提供します。

## ビッグデータとアナリティクスの要求に対応する設計

企業は、大量のデータを蓄えています。Power Systems は、データを保管・保護するとともに、実行可能な知見を、意味のある時間内にデータから引き出します。Power Systems は、ビッグデータのために設計されています。予測分析、データウェアハウス、構造化されていないビッグデータの処理、IBM Watson が実現するコグニティブ・コンピューティング・ソリューションなどに代表される、データベースやアナリティクスといった計算指向のアプリケーションのパフォーマンス要求に対応して最適化されており、データの急増をサポートするために柔軟に拡張できます。

Power Systems が提供するスケールアウト・サーバーは、POWER8 テクノロジーを土台に構築されており、データ中心型アプリケーションの高速化と効率化を実現するとともに、データセンターにおける物理的、仮想的な限界を打破します。強い回復力、可用性、セキュリティを基礎とするオープンでデータ中心型の設計の Power Systems は、コンピューティング能力、大容量メモリー、メモリー帯域幅、幅広いI/Oを結合し、データの処理や移行をさまざまなアプリケーションにわたって簡単に実行、管理できるようにします。

## スケールアウト型インフラストラクチャーが実現する、データとクラウドの経済性の向上

企業が多くのことを期待しているクラウドにおいて、Power Systems のパフォーマンスは、スケールアウト・サーバーの台数を減らすと同時に、経済性の向上によるメリットの実現を支援します。Power Systems は、x86 サーバーよりも高い使用率を実現することで、クラウドに優れた経済性を提供します。Power Systems は仮想化ソリューションの PowerVM と PowerKVM によって、インテリジェントかつダイナミックにリソースを割り当て、クラウド・アプリケーションのワークロード要求に迅速に対応します。

スケールアウト型システムである 1 ソケットまたは 2 ソケットの Power Systems のスケールアウト・サーバーは、データとクラウドのための基盤として、データ中心型アプリケーションをより多く確実にクラウドに移行するために必要なセキュリティー機能と価格対性能比のメリットを提供します。スケールアウト・サーバーは、1 世代前のサーバーの 2 倍を超える帯域幅を実現するとともにシステム利用率 65% を保証することで、ハードウェア、電力、冷却の要件を減らしながら、オープン・インフラストラクチャーをインテリジェントにスケールアウトします。

#### モバイル・アプリケーションに対応する新機能を提供

エンタープライズ・リソース・プランニング (ERP) やカスタマー・リレーションシップ・マネージメント (CRM) などのコア・ビジネス・システムは、市場のニーズに対応する上で不可欠なエレメントです。これらのシステムは、企業とその顧客が要求するデータを管理し配信します。このような Systems of Record (定型業務処理システム) と従業員や消費者とのつながりは、ユーザー・エクスペリエンスの向上や競争優位の獲得のために設計されたモバイルとソーシャルの Systems of Engagement (協働のための情報活用システム) を通じて強化されます。モバイル・アプリケーションは、このように複雑化する環境においてはミッション・クリティカルなものとなり、固有のデータ・セットだけを使用する単独アプリケーションとしては稼働できず、サービス・レベルやパフォーマンスの向上が求められています。

Power Systems は、モバイル・アプリケーションの求めるオープン・テクノロジーに加えて、モバイル・ユーザーが最も必要とするときに信頼できる応答を即時に提供するために必要なコンピューティング能力 (速度、データ帯域幅、低遅延、回復力) を提供します。共有 IT インフラストラクチャーのメリットをコア・システムに結合することと、モバイル・アプリケーションを通じて用いられるエンゲージメント・システムをセキュアかつ確実に拡張することの両方のメリットを実現できます。

#### オープンなイノベーションを実現して、IT の開発方法とデリバリー方法を変革

POWER アーキテクチャーは OpenPOWER Foundation の中核を成しています。発展を続ける OpenPOWER Foundation は、オープン・テクノロジー・プラットフォームを中心に形成され、新た

な機会の創出を支援し、幅広いアプリケーションと新しいテクノロジーを素早く提供しています。オープン・スタンダードを活用する Power Systems は、プラットフォームに合わせて開発者にツールを提供します。コモディティー化したアーキテクチャーに存在する制約を取り除くことで、開発者は生産性とパフォーマンスを向上できます。Linux、OpenStack、KVM などのオープン・スタンダードをサポートするアーキテクチャーと、Power Systems Linux Center、The Watson Development Cloud、OpenPOWER Foundation を通じて推進されるコミュニティのイノベーションにより、Power Systems は、計算指向やデータ指向のタスクを大幅に加速させる、統合ハードウェア・ソリューションの未来像を実現します。

#### 重要なビジネス・サービスの提供方法を変革しながら ROI を素早く実現

Power Systems を既に使用している場合でも、Power Systems が IT サービス提供にもたらす可能性を検討している場合でも、Power Systems が提供する スケールアウト・サーバーは、既存の IT 投資の保護と機会の拡大を目的として、新しいワークロードを現行プロセスに徹底して統合することで、エンド・ユーザーへの優れたビジネス・サービスの提供を実現します。また、パフォーマンスの競合なくリソースを共有する設計により、新しいアプリケーションの迅速な導入を実現し、迅速な ROI をビジネスにもたらします。

#### 優れた知見を提供

Power Systems を活用する企業は、優れたテクノロジーとアプリケーションだけを評価しているわけではありません。ビジネス・ソリューションのライフサイクル全体を通じた迅速かつ持続的なビジネス価値の推進と、優れたクライアント・エクスペリエンスも評価しています。

お客様は、目的に合ったインフラストラクチャー・ワークショップで獲得した知見やアドバイスをアーキテクチャーの設計に役立てることができます。また、事前に構成されたプリロード済みのシンプルなオフリングを利用して、プライベート・クラウドやアナリティクス・ソリューションの導入を素早く開始できます。さらに、多くの実績を誇る IBM Migration Factory による、コモディティー化した x86 サーバーや他社製 UNIX サーバーからの重要なデータベースやアプリケーションのスムーズな移行も支援します。

インフラストラクチャーの設計、実装、管理、最適化のプロジェクトにおいて、IBM Global Technology Services や IBM Lab Services のチームが持つセキュリティに関する深い知識も活用できます。さらには、経験豊富な IBM ビジネス・パートナーのグローバル・ネットワークと連携することで安心感も得られます。

### 統合型アプローチと容易な導入

Power Systems では、どのサーバーもコンピュータ・ノードも設計や開発、テストを一貫したアプローチで実施しているため、ビジネス・ソリューションの基盤としての導入が容易であり、高い信頼性を実現します。また、ISV の提供する数千ものアプリケーションをサポートし、オペレーティング・システムは AIX、IBM i、Linux の中から選択できます。IBM Power Systems は、用途と規模によって選択可能な複数のモデルを提供しており、各サーバーは、それぞれのクラスにおいて優れたパフォーマンスとスケーラビリティを提供しています。

### Linux インフラストラクチャーに特化したソリューション

Power Systems for Linux は、Linux ディストリビューションとして Ubuntu、SUSE、Red Hat を実行して、計算指向、データ指向のアプリケーション向けに優れたパフォーマンスと ROI を提供します。仮想化ソリューションとして、PowerVM と PowerKVM の両方が利用可能です。Power Systems for Linux は、システム管理のための IBM Cloud Manager with OpenStack ソリューションと、OpenStack などのオープンなデータセンター環境との広い互換性を実現するとともに、革新的なテクノロジー・ソリューションを素早く統合して、ベンダーの固定化を回避し、迅速にビジネス成果を上げるために必要となる柔軟性を提供します。



### POWER をベースに、データのために設計

POWER プロセッサ・テクノロジーは、家庭用電化製品からスーパーコンピュータに至るまで、多様な用途に採用されている縮小命令セット・コンピューティング (RISC) アーキテクチャーです。商用コンピューティングとテクニカル・コンピューティング/ハイパフォー

マンス・コンピューティングの両方で業界をリードするPOWER プロセッサは、DB2 データベースやSAP アプリケーションといった商用ワークロードに優れているほか、多くのスーパーコンピューターを支えています。POWER プロセッサ・テクノロジーを搭載する BlueGene は、ヒトゲノム研究における飛躍的な進歩を支援しました。また、火星探査機であるローバーにもPOWER プロセッサ・テクノロジーは搭載されています。POWER プロセッサ・テクノロジーで構築された IBM Watson は、アメリカのクイズ番組「Jeopardy!」で人間に勝ちました。そして、今日、IBM Watson は、医療、金融、カスタマー・サービスといった業界のためにテキスト・ベース分析と自然言語処理の研究を推進し続けています。

POWER プロセッサは、次世代データセンター設計の最先端にあり、従来のトランザクション処理と、Web やアナリティクス、モバイル、ソーシャルなどの計算指向やデータ指向のアプリケーション・ワークロードの両方に対応するシステムの基盤となります。パフォーマンスを最大化するために、POWER プロセッサを搭載するシステムは、特定のワークロードに合わせてシステムを自動調整する最適化テクノロジーを採用して設計されています。POWER8 テクノロジーで構築されたスケールアウト・サーバーは、バランスの取れたデータ中心型の設計であり、1 世代前のシステムの 2 倍の速さで極めて複雑なデータ指向アプリケーションをサポートします。

- ワークロードを分散するためのコンピューティング能力の増加: 50% 増のコア、コア当たり 2 倍の同時スレッド数、Coherent Accelerator Processor Interface (CAPI) によって実現するスマートなアクセラレーション。オープン・インターフェースである CAPI によって、PCI Express 3.0 (PCIe 3) デバイスは、メモリー速度でリスクなく操作に参加可能
- 大規模なデータを迅速に処理: 2 倍のメモリーと CAPI フラッシュ・テクノロジーにより、遅延の短縮と占有スペースの縮小を実現
- I/O の拡張による幅広いパス: システム間でデータを簡単に移行

OpenPOWER Foundation において、POWER アーキテクチャーは、次世代のデータセンター・イノベーションを開発する主要なテクノロジー企業の取り組みを支えています。コミュニティが主導する協調的な開発を通じて、POWER は新たな基準を打ち立て、ビジネス・イノベーションの新たな機会を創出しています。

## Power Systems スケールアウト・サーバー (1 ソケット、2 ソケット)

IBM Power Systems スケールアウト・サーバーは、優れたエネルギー効率を実現しています。また、IBM ビジネス・パートナーと業界ソリューション・プロバイダーの信頼できるネットワークによって支えられています。スケールアウト・サーバーは、ビジネスクリティカルなアプリケーションのためにエントリー・レベルまたはスケールアウト型の導入オプションを必要としている企業に理想的な選択肢となります。特に、コモディティ化した x86 サーバー環境よりも効率的で低コストのスケールアウト型環境を求めている企業に適しています。

IBM Power System S814: 極めてセキュアかつスケラブルなアーキテクチャーで、データベースとミドルウェアの安定したプラットフォームを提供し、ビジネス処理アプリケーションとミッション・クリティカルなアプリケーションの効率的な導入をサポート。1 個のプロセッサ・ソケット、最大 8 個の POWER8 プロセッサ・コア、最大 1 テラバイト (TB) のメモリーを搭載

IBM Power System S822: 複数のアプリケーションとインフラストラクチャーのワークロードを仮想化環境に統合。1 個または 2 個のプロセッサ・ソケット、最大 20 個の POWER8 プロセッサ・コア、最大 1 TB のメモリーを搭載

IBM Power System S824: アナリティクス・アプリケーションと小規模から中規模のデータベースを同一サーバー・プラットフォームで実行可能。1 個または 2 個のプロセッサ・ソケット、最大 24 個の POWER8 プロセッサ・コア、最大 1 TB のメモリーを搭載

IBM Power System S812L: Linux 環境向けに最適化された 1 ソケット・サーバー。2U ラック・マウント型フォーム・ファクターで高い性能とエネルギー効率を実現。複数のアプリケーションとインフラストラクチャーのワークロードを仮想化環境に統合。12 個の POWER8 プロセッサ・コア、最大 512 GB のメモリーを搭載

IBM Power System S822L: Linux 環境向けに最適化された 2 ソケット・サーバー。最大 24 個の POWER8 プロセッサ・コアを搭載し、ビッグデータ・アナリティクス、オープン・インフラストラクチャー・ソリューションを実行。従来のスケールアウト型 Linux ワークロードの導入コストを削減

IBM Power S824L: OpenPOWER テクノロジーを活用して、特にデュアル NVIDIA GPU アクセラレーター特有の高い計算能力を利用し、POWER8 プロセッサで大量のデータをより高速かつ効率的に処理するよう設計された 2 ソケット・サーバー(最大 24 個の POWER8 プロセッサ・コア)。ターゲットとするテクニカル・コンピューティング、ビッグデータ、Java™ のワークロードを大幅に加速させる可能性を提供



### Linux - POWER の価値を業界標準 Linux に拡張

Red Hat (Red Hat Enterprise Linux)、SUSE (SUSE Linux Enterprise Server)、Canonical (Ubuntu) が提供する Linux は POWER プロセッサ搭載システムでネイティブに稼働し、オープン・ソース・アプリケーション向けのスケラブルな Linux の選択肢となっています。統合と仮想化によって無秩序なサーバーの増大を減少させることは、多くの企業にとって重要な優先事項の 1 つです。Linux は、コモディティ化した x86 サーバー上での Linux 実行環境に代わる、スケラブルで最適化された価格競争力の高い選択肢を提供します。

Linux は、ビッグデータとアナリティクス、クラウド環境、モバイル対応プラットフォーム、ソーシャル・メディア・コラボレーション・サービスなどの重要なソリューション向けの低コストの導入プラットフォームとして選択されています。Power Systems for Linux のサーバーである Power System S812L/S822L は、Linux 環境向けに最適化されており、1 ソケット、2 ソケットの x86 Linux サーバーに匹敵する価格となっています。Power System S812L/S822L は、Linux の導入にかかるコストを低減できるほか、コモディティ化した x86 サーバーよりも効率的なサーバー仮想化を提供します。

- エンタープライズ向けの PowerVM は、特に Linux on Power 環境を対象として提供されており、ビジネスクリティカルなワークロードのために実績ある安全性、セキュリティ、スケーラビリティを提供
- PowerKVM によるオープンな仮想化は、その他の KVM ホストと同じように管理できるため、単一の仮想化オフリングによって異機種混合データセンターを容易に管理可能



### AIX - UNIX の未来形

IDC によると、AIX テクノロジーが搭載された Power Systems プラットフォームは、世界の UNIX サーバーの売上シェアでトップに立っています<sup>1</sup>。オープン・スタンダード・ベースの UNIX オペレーティング・システムである IBM AIX は、数十年間にわたる IBM の

技術革新を活用しています。AIX テクノロジーは、仮想化のための PowerVM、高可用性のための PowerHA、セキュリティーとコンプライアンスのための PowerSC と緊密に統合されて最適化されている上に、IBM DB2、IBM WebSphere Application Server、IBM Rational コンパイラーや開発ツールなどの幅広いミドルウェアとソフトウェア・スタックによる最適化を提供します。

最新の AIX 7.1 リリースでは、PowerHA と連携するクラスター対応機能のほか、AIX 5.2 と AIX 5.3 のワークロード区画実行機能が組み込まれ、アプリケーションの移行と再利用を円滑に行えるようになっています。AIX オペレーティング・システムには、中堅企業と大企業の両方に対応して、幅広い機能と柔軟性を提供するために 3 つのエディションが用意されています。

AIX 7 と AIX 6 には、AIX 5L を含む以前のバージョンの AIX とのバイナリー互換性があります。つまり、以前のバージョンで実行されていたアプリケーションを AIX 7 または AIX 6 で引き続き実行できることが保証されます<sup>2</sup>。



### IBM i – ビジネスのために設計されたシステム

IBM i は、管理しやすいビジネス・アプリケーション向けの統合プラットフォームを提供し、優れた回復力と低い運用コストが高く評価されています。IBM i に対応するアプリケーションは、長年にわたり、企業がイノベーションやビジネスの新たな価値実現に重点的に取り組み、IT 運用の管理コストを削減する上で役立っています。

15 万社を超える中堅企業のお客様が、IBM i のシンプルさ、回復力、費用対効果を活用して、ほぼすべての業界で役立つ数千の ISV アプリケーションを実行しています。定評あるセキュリティー、回復力、使いやすさは、IBM i と、組み込まれた DB2 データベース、Web サービス、ネットワーキング、ストレージ管理機能との統合から導き出されています。

IBM i 7.2 は、重要なビジネス・データのためのきめ細かいセキュリティー・オプション、追加のシステム管理機能のほか、パフォーマンスと使いやすさを念頭に置いて設計されたその他多くの機能拡張により、お客様に大きな価値をお届けします。IBM i のお客様は、IBM i 7.2 を POWER7、POWER8 のシステムで実行でき、慣れ親しんだ信頼性、可用性、スケーラビリティ、パフォーマンスといった主要な特性を利用できます。



### PowerHA - ダウンタイム・ゼロ・クラスの回復力

Smarter Computing では、本質的に、企業はサービス提供レベルを高めることを求められ、1 日 24 時間 週 7 日というアプリケーションと IT インフラストラクチャーの高可用性に対する要求は増大しています。PowerHA SystemMirror for AIX と PowerHA

SystemMirror for IBM i は、データセンターとマルチサイトの両方の回復力のための高可用性クラスタリング・ソリューションです。PowerHA は、ほとんどすべての種類の障害からビジネス・アプリケーションを保護するよう設計されており、24 時間体制のビジネス・オペレーションを維持できるようにします。

高可用性と災害復旧の最適な計画のためには、アプリケーション、オペレーティング・システム、サーバー、ストレージにわたる回復力に対する統合型アプローチが必要です。そのため、PowerHA は、PowerHA SystemMirror と AIX または IBM i との緊密な統合と最適化を提供します。PowerHA は、IBM Storwize V7000 などの IBM System Storage 製品向けに最適化されています。

### PowerSC - 仮想化データセンターを保護する設計

セキュリティーとコンプライアンスは、今日のビジネス・プロセスやシステム開発、日常的な運用にとって本質的なものであり、IT や重要なインフラストラクチャーのあらゆるソリューション設計の初期段階で考慮されるべきものです。IBM は、AIX、IBM i、Linux の各ワークロードを実行する Power Systems で脅威と無許可アクセスからデータを保護するためのソリューションを提供します。セキュリティー機能は、Power Systems のハードウェアとソフトウェアのあらゆる層に組み込まれています。ファイル・システムやデータ、バックアップを保護するデータ暗号化機能は、ビジネス情報を保護する上で不可欠です。



IBM が提供するソリューションは、ビジネス・セキュリティー・ポリシーの定義、実施、監査を直感的に管理できるようにします。IBM PowerSC は、PowerVM、AIX、Linuxを実行する Power Systems に、仮想化環境向けに最適化されたセキュリティーとコンプライアンスのソリューションを提供します。PowerSCは、業界プロファイルと、コンプライアンス違反に対してリアルタイム・アラートを出すポリシー・ベースのセキュリティー・コンプライアンス・レポートを通して、企業がコンプライアンスの管理と実証を強化できるよう支援します。コンプライアンス自動化機能には、Payment Card Industry Data Security Standard (PCI-DSS) などの多様な業界標準へのコンプライアンスを円滑に行えるようにする事前作成済みのシステム・プロファイルが含まれます。その他の機能として、ネットワーク分離、システムの信頼性状況、システム・パッチ・ポリシー・コンプライアンスのためのコンプライアンス・モニターと、監査ログの保護が含まれます。

## IBM Power Systems スケールアウト・サーバー

			 			
	<b>Power System S812L</b>	<b>Power System S822L</b>	<b>Power System S814</b>	<b>Power System S822</b>	<b>Power System S824</b>	<b>Power System S824L</b>
システム・パッケージ	2U、19 インチ・ラック	2U、19 インチ・ラック	4U、19 インチ・ラック またはタワー	2U、19 インチ・ラック	4U、19 インチ・ラック	4U、19 インチ・ラック
POWER8 プロセッサ・ オプション GHz (コア数)	3.42 GHz (10 コア) 3.02 GHz (12 コア)	4.15 GHz (16 コア) 3.42 GHz (20 コア) 3.02 GHz (24 コア)	3.02 GHz (4 コア) 3.02 GHz (6 コア) 3.72 GHz (8 コア)	4.15 GHz (8、16 コア) 3.89 GHz (6、12 コア) 3.42 GHz (10、20 コア)	3.89 GHz (6、12 コア) 4.15 GHz (8、16 コア) 3.52 GHz (24 コア)	3.42 GHz (20 コア) 3.02 GHz (24 コア)
IBM i サポート・ レベル	N/A	N/A	7.1、7.2	N/A	7.1、7.2	N/A
AIX サポート・ レベル	N/A	N/A	6.1、7.1			N/A
Linux サポート	SLES RHEL Ubuntu		SLES RHEL Ubuntu			SLES Ubuntu RHEL
仮想化の サポート	PowerVM、PowerKVM		PowerVM			PowerVM
マシン・タイプ - モデル	8247-21L	8247-22L	8286-41A	8284-22A	8286-42A	8247-42L
エネルギー 消費効率*	掲載対象外	掲載対象外	C区分、2.71	掲載対象外	掲載対象外	掲載対象外



## 詳細情報

IBM Power Systems スケールアウト・サーバーの詳細については、日本 IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。 [ibm.com/systems/jp/power](http://ibm.com/systems/jp/power)



© Copyright IBM Corporation 2015

日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan  
April 2015

IBM, IBM ロゴ, ibm.com, AIX, DB2, IBM Watson, Power, POWER, POWER7, POWER8, Power Systems, PowerHA, PowerSC, PowerVM, Rational, Storwize, System Storage, SystemMirror, および WebSphere は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

本資料に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

\* エネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネルギー法で定める複合理論性能（単位：ギガ演算）で除したものです。ただし、複合理論性能が 200,000 MTOPS 以上のものについては省エネルギー法対象外装置であり、掲載のエネルギー消費効率は参考値となります。

<sup>1</sup> IDC Quarterly Server Tracker Q210 リリース (2010 年 8 月)

<sup>2</sup> AIX のバイナリー互換性の詳細については、次の Web サイトをご覧ください。  
[ibm.com/systems/power/software/aix/compatibility/guarantee/index.html](http://ibm.com/systems/power/software/aix/compatibility/guarantee/index.html)



Please Recycle